

ふるさとの「再生」と「創造」に使ったお金

～ 平成20年度決算報告 ～

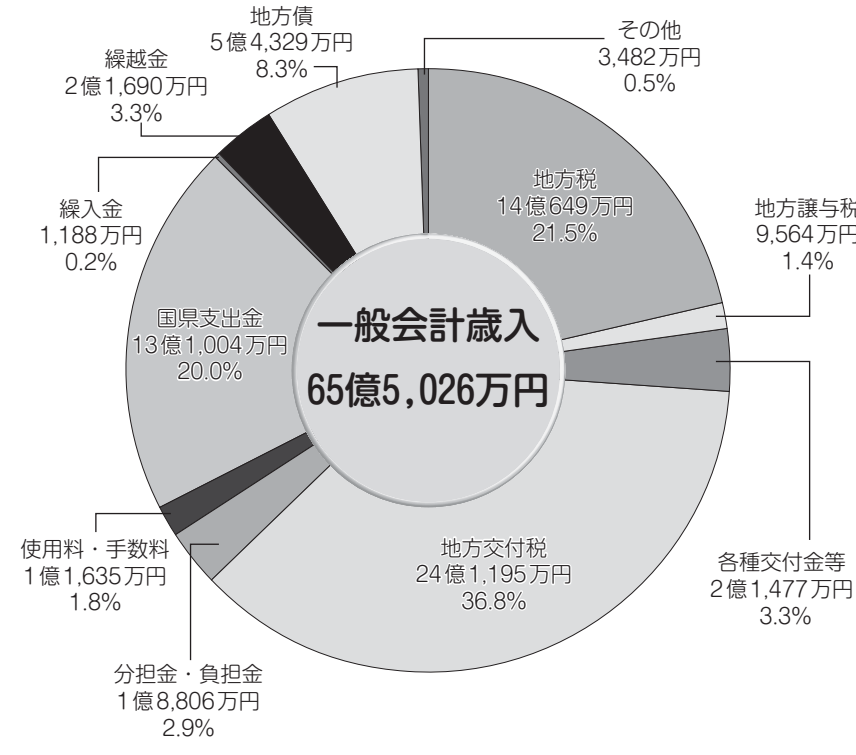
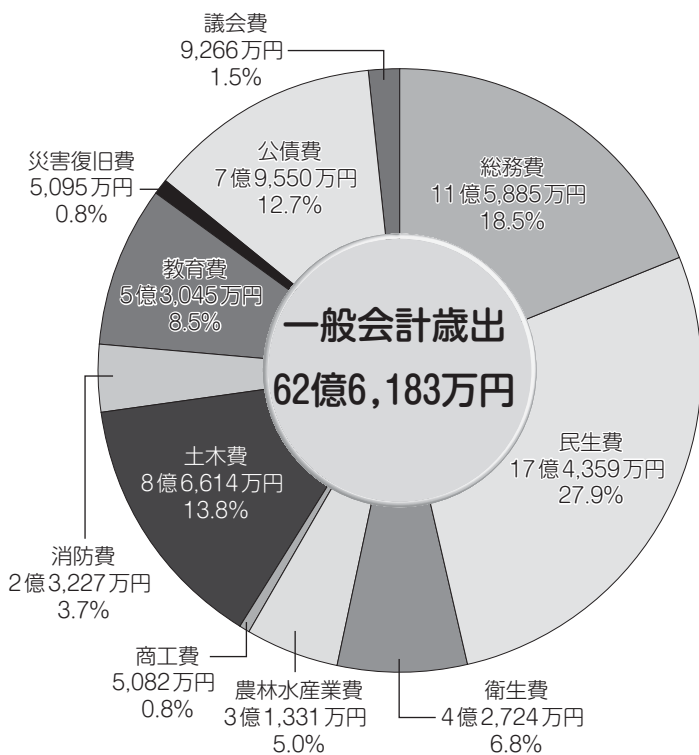
県内自治体の財政健全化判断比率（速報値）

（単位：％）

地方公共団体	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
熊本市	－	－	13.6	135.8
城南町	－	－	13.4	127.5
長洲町	－	－	23.1	158.9
御船町	－	－	16.2	114.7
嘉島町	－	－	5.1	52.7
益城町	－	－	5.8	8.9
甲佐町	－	－	11.6	74.5
山都町	－	－	13.4	82.7
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	40.0	35.0	350.0

※値がない（または0以下）はハイフン（－）表示しています。

※1 標準財政規模 町税や地方交付税など、毎年、継続的に歳入される金額の合計で、御船町の身の丈をあらわす指標の一つです。今回の算定に用いた御船町の標準財政規模は、41億6,510万円です。



決算の概要

平成20年度一般会計の決算額は、歳入（収入）65億5,026万円、歳出（支出）62億6,183万円、差し引き2億8,843万円が翌年

歳入の概要

歳入増減の主なものは、国道443号付近の開発に伴い固定資産税の増や、個人住民税の増などで町税が3,915万円増額。各種交付金は景気低迷の影響を受け合計で1,402万円減額。主要な収入となる地方交付税は、地方へ手厚く配分する地方再生対策により、1億557万円の増額。国庫補助金は、障害者自立支援給付費等負担金の増や、児童手当交付金の増、地域バイオマス利活用交付金の増などで4億3,849万円の増額。県支出金は、県知事選挙委託金や災害復旧費負担金などの減で8,590万円の減額。繰入金は、各種基金からの繰り入れが減り7,030万円減額しました。

歳出の概要

歳出増減の主なものは、総務費が、地域バイオマス利活用補助金の影響で3億631万円の増額。民生費が、次世代育成支援対策施設整備費補助金や老人保健特別会計繰出金が減額したもの、後期高齢者医療関係の負担金や繰出金が増加したため、7,326万円の増額。土木費が、

この法律によって、普通会計だけでなく、特別会計や一部事務組合などの経営状況も含めて4つの指標（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）を算出することになりました。ここでは、財政健全化判断比率についての概要をお知らせします。

実質赤字比率

普通会計の実質収支が赤字となった場合、その割合が町の標準財政規模に対してどの程度かを測る指標です。家計に例えれば、年間の収支赤字が年収に対してどのくらいの割合を示すものです。平成20年度決算では約2億8,843万円の黒字決算となっています。

連結実質赤字比率

町の全会計の総額の収支が赤字となった場合、その割合が町の標準財政規模に対してどの程度かを測る指標です。家計に例えれば、お父さんの収支（一般会計）だけでなく、同居しているおじいさんの収支（例えば水道事業）や、お母さんの収支（例えば介護保険事業）など、同居している全ての収支を合計して赤字の割合を示すものです。御船町では赤字はありません。

実質公債費比率

一年間のうちに債務返済に支出さ

その他の会計の決算（単位：万円）

会計名称	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計	20億5,428	20億0,900
老人保健事業特別会計	2億8,160	2億5,791
介護保険事業特別会計	15億0,159	14億2,121
後期高齢者医療事業特別会計	1億6,849	1億6,658
緑の村運営事業特別会計	2,413	2,343
公共下水道事業特別会計	5億8,695	5億8,259
公共用地先行取得事業特別会計	1,881	1,881
水道事業会計	収益的収支	2億8,888
	資本的収支	1億1,767
計	2億8,888	2億6,954

※収益的収支とは、経営活動に伴い発生する収益と費用
※資本的収支とは、将来の経営活動に備える投資的な経費とそれに充てる財源

北園茶屋本線改良事業と都市計画街路事業の増加で6,620万円の増額。教育費は、廃園のため幼稚園費が減額した影響で2,574万円減額しました。平成20年度は、厳しい財政状況のなか、収入の確保や経費の節減を行った結果、財政調整基金の取崩しをせずに財政運営を行うことができました。今後も町民の皆さまの協力を得ながら、行財政改革を行い、さらに、行財政改革を推進していくことにしています。

財政健全化判断比率

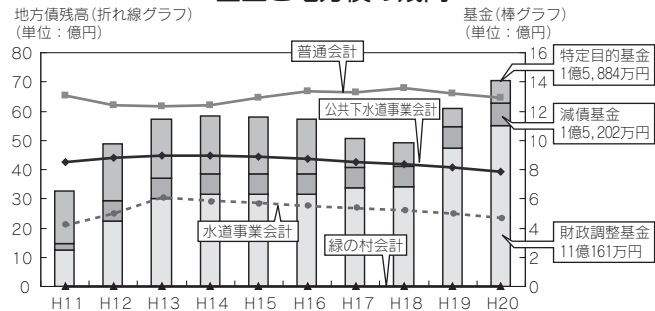
破たんした地方自治体の教訓を生かし、早い段階で破たんを是正するため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

れた額が、町の標準財政規模に對しどの程度かを測る指標です。家計に例えれば年間収入に対する借金返済額の割合です。債務は義務的経費ですから、この値が高いほど財政運営に柔軟性を欠いているといえます。御船町は16.2%となっています。

将来負担比率

町の債務総額が、標準財政規模に対してどの程度かを測る指標です。家計に例えれば、家族の年間収入に対して、何年分の借金があるかを示す割合です。100%だとすれば、一年分の年収と同じ借金総額ということになります。御船町は114.7%となっています。

基金と地方債の残高



※普通会計とは、町が行う仕事の中心的な会計の一般会計と公共用地先行取得事業特別会計を合算したもの